

# an新聞

No3 new!

平成24年3月1日発行



## ひとりでもできるもん② ～お手伝いで広がる自信～

anに通っているCさんは、公立の小学校の1年生で支援学級に在籍されています。Cさんはanで2年目の療育を経験され、今年度は、「お手伝い活動」に取り組みることになりました。

Cさんの“得意なこと”“好きなこと”を生かして、できる活動を考え、また1年生という年齢も考慮して、「お皿洗い」に挑戦することになりました。

ここで、取り組みについてご紹介する前に“得意なこと”“好きなこと”について少し触れてみたいと思います。

“得意なこと・好きなこと”とは、「子ども本人が自信を持っていること」また、「ひとりで最後までできること」を指します。

自信を持って最後まで一人でやれることは、子どもだけでなく、大人であっても“達成感”がありますよね！

「やらされる」のではなく、「楽しんでできる」ものを「お手伝い活動」として選び、子どもたちに“自信”や“達成感”を持ってもらいたいものです。

←図1 ↓



←図2 ↓



では、いよいよCさんの取り組みについてご紹介いたします。

Cさんの得意なことは「目で見て手順を確認すること(手順書)」また、「手順書があれば、手順書に沿ってスムーズに活動を行えること」です。例えば、「図1」のように、工作も、手順を示す手がかりがあれば、一人で作業を完成させることができます。また、「図2」のように、どこに何を置くかも、絵や写真の手がかりがあれば、その通りに物を置くこともできます。

Cさんは学校での調理実習の後のお片づけや、洗い物も積極的に参加する様子も見られたため、洗い物に対するモチベーションも高いと考えられました。そこで、Cさんの得意な点を生かし、手順書を使って、一人で「お皿洗い」をすることに決定しました。

Cさんのお皿洗いの様子です(図3)。手順書に注目し、お皿を洗っている様子が分かります。



台所のセッティング



図3

このように、得意なことを生かすことで、日常生活の様々なことにもチャレンジでき、生活の幅が広がります。そうすることで、子どもたち自身が自信を持って生活できるのです。

子どもたちの“得意なところ”“好きなこと”に注目し、支援を続けることで、子どもたち自身も、まわりの大人も楽しんで、取り組みを続けることができます。

「ひとりでもできるもん」、それは子どもたちに自信を与え、“わかる！楽しい！”を育てる大切な“キーワード”と言えます。

### 編集後記

いよいよ、今年度最後の新聞となりました。療育での取組み3回シリーズはいかがでしたか？

少しでも療育の様子を知っていただけたら、お子さまの成長を感じていただけましたでしょうか？

子どもたちは必ず成長します！その成長を信じて、子どもたちに沿った支援をこれからも続けていきます(新谷)

